

経営理念

～地域で最も信用、信頼される金融機関をめざして～

私たちは

1. 地域と共生し豊かな街づくりに奉仕します。
2. 顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応えます。
3. 金庫の健全な発展に努めます。
4. 明るく働きがいのある職場づくりに努めます。

行動規範

(1)信用金庫の公共性、社会的責任の自覚

金庫の公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹し、その社会的使命を全うすることによって地域社会の発展に寄与します。

(2)お客様第一主義の徹底

お客様に誠心誠意、親切の心をもって接し、正確、迅速な金融サービスを実践します。

(3)誠実公正な行動

法令及びその精神を遵守し、社会的規範にもとることのないよう、行動は誠実かつ公正を旨とします。

(4)地域社会への貢献

金融を通じて地域社会の発展の為、地域とのコミュニケーションを密にして、産業の振興、文化の発展に寄与します。

(5)人間性尊重

心の豊かさを大切にして、人間性尊重の精神に溢れた働きがいのある風土を築き上げます。

(6)環境問題への取り組み

資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実践するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組みます。

(7)反社会的勢力の排除

社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力は、これを断固として排除します。

(8)地域社会とのコミュニケーション

経営等の情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図ります。

主な業務の内容

① 預金及び定期積金の受入れ

② 資金の貸付け及び手形の割引

③ 為替取引

④ 上記①～③の業務に付随する次に掲げる業務その他の業務

(1)債務の保証又は手形の引受け (2)有価証券[(5)に規定する証書をもって表示される金銭債権に該当するものを除く]の売買(有価証券関連デリバティブ取引に該当するものを除く)又は有価証券関連デリバティブ取引(投資の目的をもってするものに限る) (3)有価証券の貸付け (4)国債証券、地方債証券若しくは政府保証証券(以下「国債証券等」という)の引受け(売出しの目的をもってするものを除く)並びに当該引受けに係る国債証券等の募集の取扱い及びはね返り玉の買取り (5)金銭債権の取得又は譲渡及びこれに付随する業務 (6)次に掲げる者の業務の代理〔株式会社日本政策金融公庫/独立行政法人住宅金融支援機構/独立行政法人勤労者退職金共済機構/日本銀行/独立行政法人農林漁業信用基金/独立行政法人中小企業基盤整備機構/西日本建設業保証株式会社/日本酒造組合中央会/一般社団法人しんさん保証基金/年金積立金管理運用独立行政法人/公益社団法人全国市街地再開発協会/独立行政法人福祉医療機構/一般社団法人全国石油協会〕 (7)次に掲げる者の業務の代理又は媒介(内閣総理大臣の定めるものに限る)〔金庫(信用金庫及び信用金庫連合会)〕 (8)信託会社又は信託業務を営む金融機関の業務の代理又は媒介(内閣総理大臣の定めるものに限る。)(信金中央金庫) (9)国、地方公共団体、会社等の金銭の収納その他金銭に係る事務の取扱い (10)保護預り及び貸金庫業務 他

⑤ 国債証券、地方債証券、政府保証証券その他の有価証券について金融商品取引法により信用金庫が営むことのできる業務(上記④により行う業務を除く)

⑥ 法律により信用金庫が営むことのできる業務

- (1)保険業法により行う保険募集
- (2)中小企業等協同組合法により行う共済募集
- (3)地方債又は社債その他の債券の募集又は管理の受託
- (4)確定拠出年金法により行う業務
- (5)高齢者の居住の安定確保に関する法律の定めるところにより、高齢者居住支援センターからの委託を受けて行う債務保証の申込の受付及び保証債務履行時の事務等
- (6)電子記録債権法の定めるところにより、電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務

西兵庫信用金庫と地域社会

～地域で最も信用、信頼される金融機関をめざして～

当金庫は、西播磨地域を主な事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的な発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

預金積金について

当金庫では地域のお客様の着実な資産作りのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に努めております。

預金積金残高 **4,518億円**

貸出金以外の運用について

貸出金以外の資金運用については、安全第一を心がけております。

預け金残高 **1,389億円**
有価証券残高 **1,454億円**

お客様 会 員

会員数 25,764名

地域の豊かな
未来のために

西兵庫信用金庫

・常勤役職員数 **330名**
・事業所数
 店舗数 **26店舗**
 店外ATM **15カ所**

ご融資について

地域の皆様からお預かりした預金は、資金を必要とされている地域のお客様に幅広くご利用いただいております。

貸出金残高 **2,011億円**

※計数は平成30年3月31日現在のものです。

お取引先への支援について

当金庫では企業支援部が中心となって、企業の経営改善のお手伝いをしております。また、兵庫県立大学と連携を行い、一緒に個別企業の技術相談や工場を訪問するなどの活動を行っております。

その他にも、経営者及び次世代経営者の異業種交流・親睦を図る場として、「にしんクラブ」を昭和57年5月に発足、平成20年8月には、「にしんJ-CLUB（次世代経営者を中心とした会）」を立ち上げ、現在では両クラブで約260名の方が会員となっております。研修旅行、勉強会等の他に外部講師を招いた講演会を行い、多数の参加をいただいております。



にしんクラブ連合会講演会
読売テレビ解説委員
高岡達之氏
「ニュースの裏側から見る政治・経済」

にしんJ-CLUBセミナー
信金中央金庫 神戸支店長
大野英明氏
「宍粟市の創生に向けて」



地域密着型金融に関する取組状況

(中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関として金融仲介機能の発揮に向け役職員一同本気で取り組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成29年度においても、「顧客企業の経営改善等に資するコンサルティング機能の発揮」に一層注力するとともに、「地域の創生・活性化支援への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、引き続き地域密着型金融の実践に積極的に取り組みました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取り組み

- ①事業計画策定への関与と効果的なモニタリングの実施による企業支援のPDCAサイクルの実現
 - ・定期的に訪問を行い、経営計画書の策定・進捗のモニタリングや課題解決に向けた提案・指導を実施
- ②ビジネス展、商談会、相談会、セミナー等を活用した企業支援の強化、経営課題の抽出と支援策の提供
 - ・販路拡大としてビジネス展や商談会の情報提供や事業承継として専門家による個別相談会への参加などライフステージに応じた支援メニューを提案
 - ・平成29年12月2日に「第3回しそうビジネスサポート」を宍粟市・宍粟市商工会と共同開催し地域活性化に向けてビジネス展、個別商談会、経営相談会を実施

(2) 目利き能力の向上

- 顧客企業のライフステージに応じた事業ニーズ・本業支援に対応できる「目利き能力」向上に向けた人材の育成
 - ・外部研修に派遣：近畿地区信用金庫協会主催の「融資渉外研修会」、兵庫県信用金庫協会主催の「融資渉外能力講座」、「目利き力・企業再生支援講座」
 - ・通信講座を受講：「法人融資渉外実践講座」、「法人融資渉外基本講座」、「目利き力養成講座」
 - ・平成29年度中に中小企業診断士1次試験に1名合格、資格取得に向けスクーリングに参加中
 - ・会計事務所（認定支援機関）による「早期経営改善計画策定支援」研修及び担当部門による「補助金申請支援」の勉強会を開催
 - ・公益財団法人新産業創造研究機構による「知的財産権・商標制度の活用」研修を開催
 - ・日本政策金融公庫と連携の「創業審査のポイント」研修を開催

(3) ビジネスマッチングの推進

- ①業界ネットワーク等を活用したビジネスマッチングの推進
 - ・大手企業とのビジネスマッチング機会の創出に兵庫県信用金庫協会「川上・川下ビジネスネットワーク事業」のシーズ・ニーズ企業登録を新たに13社申請
 - ・販路開拓に業界ネットワークを活用した各種ビジネスフェアや商談会への参加を提案。「おやかましんきんビジネス交流会」「あまがさき産業フェア」他ビジネスフェア・商談会に25社参加、信金中央金庫他の商品募集に22社申請
- ②企業支援情報の提供・活用
 - ・ひょうご産業活性化センター、中小企業基盤整備機構、神戸商工会議所などの販路開拓や経営力向上に繋がる情報提供並びに補助金・助成金の活用を案内、経営力向上計画・経営革新計画の策定支援9社、補助金申請の支援6社実施

(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み

- ①地域自治体・商工団体等と連携した創業・新事業支援の取組み強化
 - ・宍粟市・宍粟市商工会・日本政策金融公庫との創業支援事業の協定に基づき、「創業塾」を9月に5回シリーズで開催、22名が受講
 - ・創業・第二創業・新事業の創業支援に積極的な取組み融資実行39先、うち日本政策金融公庫と6先について協調融資
- ②経営課題解決に向けた支援と専門家の活用
 - ・取引先の経営課題解決に向けて、兵庫県立大産学連携機構、日本貿易振興機構（JETRO）、新産業創造研究機構（NIRO）、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点、認定支援機関など多くの外部専門機関と連携した支援実施
- ③兵庫県中小企業再生支援協議会、経営改善支援センター、信用保証協会等の外部機関を活用した事業再生支援の実施
 - ・中小企業再生支援協議会・経営改善支援センターを活用6社、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議を活用5社、同専門家派遣制度を活用10社。また、外部認定支援機関と連携して、本年度5月より開始となった中小企業

庁の「認定支援機関による早期経営改善計画策定支援」を8社について実施

- ④医療・介護・環境等の成長分野への取組み強化
 - ・医療・福祉分野24件1,112百万円、環境・太陽光分野12件412百万円、農業・林業分野3件23百万円合計39件1,547百万円の融資取組み実績
- ⑤次世代経営者を対象にした事業承継支援を実施
 - ・次世代経営者を対象にした「にしんJ-CLUB」において信金中央金庫神戸支店長を講師に招聘して「宍粟市の創生に向けて」をテーマにセミナーを実施

(5) 外部専門家・外部機関等との連携

- 事業性評価に向けた外部専門家、外部機関との有機的連携
 - ・事業性評価、コンサルティング機能の強化に公的機関等外部機関と連携した取組みを実施。ひょうご産業活性化センター「技術・経営力評価報告書」による評価書作成5社、特許庁「知財ビジネス評価書作成支援事業」2社申請うち1社評価書作成
 - ・中小企業基盤整備機構「小さな卓越企業発掘&育成プログラム」による成長支援2社が継続取組み
 - ・兵庫県信用金庫協会「川上・川下ビジネスネットワーク事業」の支援活用事業コーディネーターによる企業調査訪問12社実施
 - ・TKC近畿兵庫会と「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」を12月に締結し、税理士・公認会計士との協力関係を強化

2. 地域の創生・活性化支援への取組み強化

- ①一般財団法人「にしん地域振興財団」を通じた地域創生・活性化支援への積極的な取組み
 - ・地域のコミュニティ活動助成事業に対し172.5万円を助成
 - ・青少年健全育成助成事業に対し220万円を助成
 - ・地場産業振興発展事業に20万円を助成
- ②地域自治体等と連携した地域創生・活性化に向けた取組み
 - ・地元の高等学校と連携し、地域活性化（地域のにぎわいづくり）の取組みとして、当金庫本店ショーウィンドウに作品を4回展示
 - ・信金中央金庫と連携し、宍粟市経営者協会のメンバーを対象に「宍粟市の活性化に向けて」をテーマとしたセミナーを開催
- ③地域自治体等における「地域創生総合戦略」の具体策推進への積極的関与
 - ・宍粟市地域創生戦略委員会に委員として参画、佐用町まちづくり推進会議に委員として参画、西播磨民局地域創生戦略会議に委員として参画、播磨圏域成長戦略会議に委員として参画

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮や地域の支援・活性化への取組み強化等について、ホームページやディスクロージャー誌等を活用した分かりやすい情報発信
 - ・平成28年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ（6月）とディスクロージャー誌（7月）で公表
 - ・平成29年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページ（6月）で公表
 - ・平成29年度の「地域密着型金融の上期取組状況」をホームページ（10月）で公表
 - ・第3回ビジネスサポート&グルメフェア開催のお知らせをホームページ（11月）で公表
 - ・西播磨地域の中小企業102社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表（4月、7月、10月、12月、3月）

4. その他地域貢献

- ①小中学校での金融教育活動の実施
 - ・小中学校での金融教育は4校実施（千種小学校、山崎小学校、波賀中学校、城下小学校）
 - ・姫路市高浜小学校の生徒約30名が、生活科の時間に社会勉強のため、飾磨支店に来店。生徒からの質疑応答について支店長及び女性職員が対応
- ②夏休み親子企業参観の開催
 - ・当金庫職員親子を対象に、職場見学と金融教育を実施

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

平成29年度	
新規に無保証で融資した件数	103件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	1.57%
保証契約を解除した件数	85件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件

経営改善支援等の取組み実績【29年4月～30年3月】

(単位：先数)

	期初 債務者数 A	うち経営改善支援 取組み先数 α	α のうち期末に債務者区分 がランクアップした先数 β	α のうち期末に債務者区分 が変化しなかった先数 γ	α のうち再生計画を 策定している全ての先数 δ	経営改善支援 取組み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
正常先 ①	3,001	0		0	0	0.0%		—
要 注 意 先								
うちその他要注意先 ②	499	62	4	54	62	12.4%	6.5%	100.0%
うち要管理先 ③	2	2	1	1	2	100.0%	50.0%	100.0%
破綻懸念先 ④	94	8	1	7	8	8.5%	12.5%	100.0%
実質破綻先 ⑤	79	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥	16	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計(②～⑥の計)	690	72	6	62	72	10.4%	8.3%	100.0%
合計	3,691	72	6	62	72	2.0%	8.3%	100.0%

金融仲介機能のベンチマークについて

平成28年9月に金融庁から、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するための指標として、「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。当金庫では、地域の中小企業や小規模事業者の皆様のライフステージに応じた積極的な支援を行うなど、金融仲介機能の発揮に積極的に取組む中、今後も地域の活性化に向けた取組みを強化していくため「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の質の向上に努めてまいります。

当金庫の平成29年度の金融仲介機能の取組状況については、以下のとおりです。

■当金庫がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数及び同先に対する融資額の推移

メイン先数	メイン先の融資残高	経営指標等が改善した先数
1,552先	814億円	868先

*融資残高1位が判明している先を単体ベースで集計しています。

経営指標等が改善した先(868先)に係る 3年間の事業年度末の融資残高の推移	28/3期	29/3期	30/3期
	478億円	496億円	508億円

*融資残高1位が判明している先を単体ベースで集計しています。

■当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更総数	好調先	順調先	不調先
333先	29先	103先	201先

*売上高を基準に、経営改善計画に対して実績の進捗状況を次のように区分しております。好調(120%超)、順調(80%～120%)、不調(80%未満)

*経営改善計画を未策定の先は不調先を含めています。

■当金庫が関与した創業、第二創業の件数

支援・関与総件数
58件

■創業支援先数(支援内容別)

創業計画の策定支援	融資(プロパー)	融資(信用保証付)	政府系金融機関等協調融資
16先	11先	25先	6先

■ライフステージ別の与信先数及び融資額

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	3,640先	200先	121先	801先	95先	406先
上記先の事業年度末の融資残高	1,338億円	45億円	69億円	346億円	25億円	207億円

*創業期(創業から5年まで)、成長期(売上高平均で直近2期が過去5期の120%超)、安定期(同120%~80%)、低迷期(同80%未満)、再生期(貸付条件の変更または延滞がある先)

*直近5期間の財務データが入手できない先は集計していないため、合計は合致しません。

■当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び全与信先数及び融資額に占める割合

	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	926先	575億円
上記計数の全与信先数及び全与信先の融資残高に占める割合	25.4%	43.0%

*貸付条件の変更先は含めておりません。

■ソリューション提案先数及び融資額、及び全取引先数及び融資額に占める割合

	全取引先①	ソリューション提案先②	②/①
ソリューション提案先数、及び同先の全取引先数に占める割合	3,640先	238先	6.5%
上記先の融資残高、及び同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	1,338億円	175億円	13.1%

*ソリューション提案は、本業支援、経営計画策定支援、創業支援、販路開拓支援、M&A支援、事業承継支援などの提案を行っている先。

*上記提案を実施している先でも、与信取引がない先及び貸付条件の変更先は含めておりません。